



令和 5 年 3 月 3 1 日

国土交通省中部地方整備局

「MIZBE ステーション」はじめました！

地域活性化や賑わいの創出に寄与する「MIZBE ステーション」の登録制度を新たに設け、この度、第 1 回の登録箇所として 3 箇所選定しました。（新規 1 箇所、既存 2 箇所）

また、河川防災ステーションも 1 箇所登録しました

1. MIZBE ステーション、河川防災ステーションの登録

- 新たに整備する河川防災ステーションのうち、市町村等と連携し地域の土地利用と一体となって、平時に多くの利活用が見込まれる中部管内の 1 つの施設を MIZBE ステーションに登録し、来年度から整備に着手します。（新規登録施設）。
- また、平時に多くの方々に利用され、地域活性化や地域の賑わいを創出している中部管内 2 箇所の施設を MIZBE ステーションとして登録しました。（既存施設）
- 加えて、中部管内 1 箇所の河川防災ステーションを登録し、来年度から整備に着手します。

2. MIZBE ステーション活用事例集の公表

- 災害時に活用する施設は、平時から活用してこそ本来の機能を最大限活用できるものです。このため、平時利用は非常に重要であることからより一層の活用を促すため、今回 MIZBE ステーションに登録した中部管内 2 施設（全国で 9 施設）も含め事例集としてとりまとめ、国土交通本省にて公表されました。

（URL : https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/index.html）

3. 添付資料

- ・MIZBE ステーションとは
- ・令和 4 年度中部管内「MIZBE ステーション」「河川防災ステーション」登録箇所一覧
- ・山吹地区 MIZBE ステーション概要
- ・福原地区河川防災ステーション概要
- ・早田地区 MIZBE ステーション事例集
- ・塚本地区 MIZBE ステーション事例集

4. プレスリリース配布先

中部地方整備局記者クラブ、伊那記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、飯田市記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ、桑名市政記者クラブ、津島記者会、沼津記者会、三島記者クラブ

5. お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

河川部河川計画課 課長 武田 正太郎、課長補佐 中村 一郎 電話 : 052-953-8148

MIZBEステーションとは

- ◆ 河川防災ステーションは、災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる施設です。
- ◆ 河川防災ステーションの上面などを活用した平時における市町村等の取り組みにより、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションを「MIZBEステーション」として登録します。
- ◆ 災害時と平時両面の機能を併せ持つMIZBEステーションは、水防関係者や住民などあらゆる関係者に活用されることで「流域治水」推進の起点となり、また地域の賑わいの核として地域活性化を推進します。

《MIZBEステーションのポイント》

①滞在のしやすさ

- ・ 駐車場やトイレ、テーブル、ベンチ等の休憩施設などの施設が充実



広い駐車場



水防多目的センター



防災啓発コーナー

②地域連携

- ・ 地域活性化、賑わいの創出に寄与するレクリエーション施設、地域振興施設、文化・教養施設、民間施設などが水防センターに併設または隣接



運動・教室スペース(エクササイズ)



水防センター(武道交流館)



民間商業施設と隣接

③アクセスのしやすさ

- ・ 幹線道路に面するなどアクセスしやすい立地環境



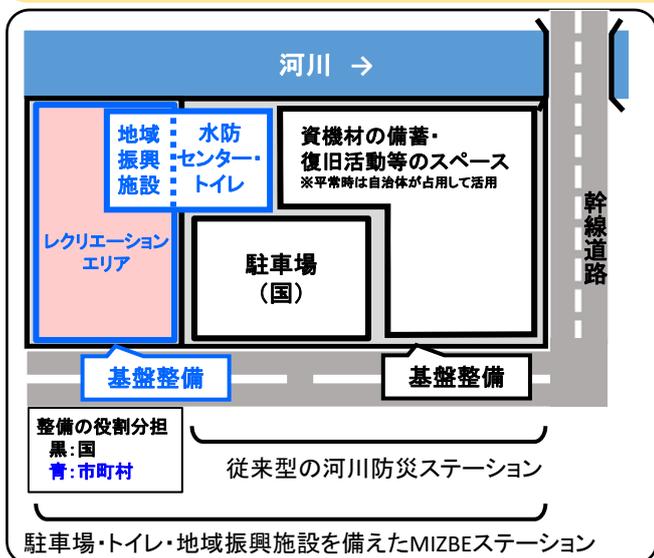
県道



国道



国道



MIZBEステーションの整備イメージ



MIZBEステーションを拠点とした自然体験活動例



MIZBEステーションを拠点とした各種イベント実施例

令和4年度中部管内MIZBEステーション登録 箇所一覧表

	都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体
新規整備	長野県	たかもりまち 高森町	てんりゅうがわ 天竜川	てんりゅうがわ 天竜川	やまぶき 山吹地区MIZBEステーション	国土交通省 たかもりまち 高森町
既存施設	岐阜県	ぎふし 岐阜市	きそがわ 木曽川	ながらがわ 長良川	そうてん 早田地区MIZBEステーション	国土交通省 ぎふし 岐阜市
	静岡県	かんなみちょう 函南町	かのがわ 狩野川	かのがわ 狩野川	つかもと 塚本地区MIZBEステーション	国土交通省 かんなみちょう 函南町

令和4年度中部管内河川防災ステーション登録 箇所一覧表

	都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体
新規整備	愛知県	あいさいし 愛西市	きそがわ 木曽川	きそがわ 木曽川	ふくはら 福原地区河川防災ステーション	国土交通省 あいさいし 愛西市

やまぶき たかもりまち
「山吹地区MIZBEステーション」(長野県高森町)

対象河川：1級河川 ^{てんりゅうがわ}天竜川水系天竜川 【国管理河川】
 市町村名：長野県 ^{たかもりまち}高森町



1. 概要

山吹地区MIZBEステーションは、平時は高森町において整備するレストランやキャンプ場、カヌー、ビーチバレー、スケートボード、サイクリングなどのスポーツの活動拠点として、地域活性化や賑わいの創出が期待されています。

災害時は、緊急復旧活動や水防活動の拠点となります。

2. 整備内容

国土交通省：緊急復旧用資材(根固めブロック等)の備蓄、ヘリポート等

高森町：拠点施設(水防センター・レストラン等)、キャンプ場、スポーツパーク等

位置図

航空写真 至駒ヶ根市 新万年橋建設予定 天竜川 至飯田市

整備イメージ 消防施設 備蓄資材置場 レクリエーションスペース(地域振興施設) ヘリポート 天竜川

【連携先の事業主体】：高森町

＜案＞

- 川を学ぶ拠点：展示物、発電設備、水防センター等
- 川と遊ぶ拠点：親水広場、カヌー・ラフティング等
- 外から人を呼ぶ拠点：キャンプ場、ピアガーデン等
- 川と町を結ぶ拠点：歩道整備、桜並木の整備等
- 健康づくりの拠点：ウォーキングコース、芝生広場等

整備イメージ図

サイクリングコース 田沢川橋 明神橋へ 親水広場 割石 ブロック 土砂(良質土) 平常時は、BMXパーク 駐車場 高森消防署 広場 丘 源つば 拠点施設 練習用 ビーチバレーコート キャンプ場 散策・ランニングコース カヌーコース サイクリングコース 竜神大橋 万年橋へ

黒：河川管理者 青：高森町

カヌー(平時利用案)

防災学習(平時利用案)

※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

「福原地区河川防災ステーション」(愛知県愛西市)

対象河川 : 1級河川 木曽川水系木曽川 【国管理河川】

市町村名 : 愛知県愛西市



1. 概要

福原地区河川防災ステーションは、愛西市が整備する水防センターと一体となり、災害時の緊急復旧活動や水防活動の拠点となる施設です。

平時は、愛西市が水防センターを水防訓練や防災教育等に活用するほか、屋外は朝市やマルシェ、マラソン大会などのイベントで活用するなど、地域の賑わいづくりや地域活性化に寄与することが期待されています。

2. 整備内容

国土交通省 : 盛土造成、緊急復旧用資材(根固めブロック等)の備蓄、ヘリポート等

愛西市 : 水防センター

位置図

ヘリポート(イメージ)

福原地区河川防災ステーション

施設配置平面図

備蓄ブロック・備蓄割栗石(イメージ)

備蓄土砂

駐車場

平常時臨時駐車場

水防センター(イメージ)

平常時利用施設(案)

「あいさい」朝市 (イメージ)

マルシェ (イメージ)

木曽三川公園リレーマラソン

※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

早田地区MIZBEステーション

【MIZBEステーションの概要】

災害時は水防活動や災害復旧活動等の拠点となるが、平時は河川を身近に感じ、地域のみなさまの防災学習の場として、また文化活動の拠点としても大いに活用されている。

【河川名】

木曾川水系長良川

【所在地】

岐阜県岐阜市早田字北堤外地内

【連携施設】

岐阜市長良川防災・健康ステーション(文化活動)

【連携主体】

岐阜市

【岐阜市長良川防災・健康ステーションの活用事例】

健康測定コーナー、運動・教室スペース、情報コーナー・交流サロン、更衣室、シェアサイクル施設、貸会議室、展望デッキ及びサロン、防災展示ホール

【活用頻度・利用者・人数】

通年、地域住民等、利用者数(R4実績):約170人/日(約47,000人/年)

位置図



■施設概要

(完成年度)平成27年度

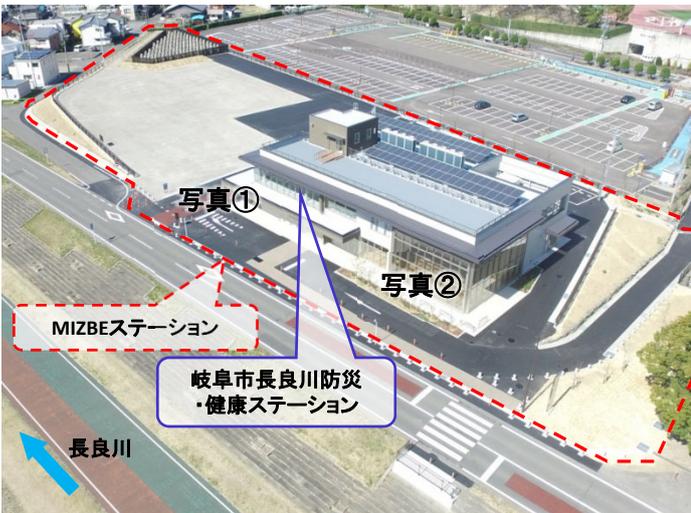
(開館日)平成28年4月1日

(敷地面積)9,200m²

(利用時間)

AM7:30~PM9:00

■現況写真



岐阜市長良川防災・健康ステーションの外観



■活用状況の写真



写真①シェアサイクル施設



写真②運動・教室スペース(エクササイズ)

【活用の効果】

運動・教室スペース等の利用により、市民の健康増進および交流の創出に寄与している。

【今後の展開】

地元水防団の訓練の為の会場提供や防災展示ホールで行う防災学習により、地域防災意識の向上を図る。また、各種イベント開催等により地域活性化を図る。

塚本地区MIZBEステーション

【MIZBEステーションの概要】

災害時は、水防活動や災害復旧活動等の拠点となるが、平時は、「MIZBEステーション」と「かわまちづくり」が一体となった川の駅と、道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」が連携し、伊豆半島の玄関口となる函南町において、「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」をテーマとした水辺空間での賑わいの創出により、地域の活性化に貢献している。

【河川名】

狩野川水系狩野川

【所在地】

静岡県田方郡函南町塚本地先

【連携施設】

川の駅、道の駅

【連携主体】

函南町、川の駅運営者、道の駅運営者

【活用事例・活用頻度・利用者・人数】

猫おどり・・・年1回(夏頃)

ミズベリング・・・年1回(7月)

餅まき・・・年1回(1月)

野菜マルシェ・・・2ヶ月に1回(定期開催) etc.

位置図

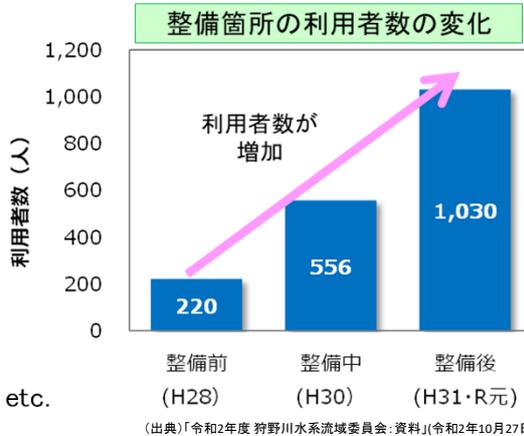


■施設概要

(完成年度)
平成30年度
(面積)
9,900m²

■HP

(狩野川塚本地区 河川防災ステーション 川の駅 伊豆ゲートウェイ函南)
<https://www.kawanoekiizugateway.com/>



■現況写真



MIZBEステーションの現況



川の駅と道の駅からなる複合施設

■活用状況の写真



川の駅でのイベント



高水敷でのイベント利用



ドッグラン



カヤック・SUPの体験会
出典)川の駅 伊豆ゲートウェイ函南WEB

【活用の効果】

川の駅と道の駅が連携し、地域を含めた流域の活性化に貢献。

【今後の展開】

水辺空間での「にぎわい」「憩いの場」の創出。
狩野川「かわまちづくり」など3地区の連携・情報発信。